

平成20年10月15日

# あざくら



第52号

通算91号

一人ひとりの  
個性をゆたかに

秋田県障害者スポーツ大会

題字/佐藤優子さん



## このぼる思ひいふ

管理課長 齋藤 三紀夫

当施設に勤務して半年になります  
が、みんなに助けられながらも慌た  
だしい日々を送っています。21年度  
には自立支援法の見直しが行われ、  
良い方向に変わるとの情報ですが、  
まだ、具体的な内容はなく、見通し  
が立たない状況です。当施設では現  
在行っている事業のサービスの質を  
高めるよう努力していかねばならな  
いと思っています。

さて、話が変わり仕事とはあまり  
関係ないのですが、これまで穿いて  
いたズボンがきつくなり、楽に穿け  
るようにと走っています。夜は暗く  
危険なので、休日の朝走っています。  
住んでいる所は海岸に近く、海岸道  
路を走ります。

朝の空気を吸い、海を見ながら気  
持ちよく走るのですが、道路脇に捨  
てられた空き缶、レジ袋に入った弁  
当の殻やペットボトルの殻で、その  
気持ちが一気に沈みます。つい最近  
ですが、テレビが捨てられていたこ  
ともありました。どういう気持ちで  
捨てるのか気持ちが分かりません。  
捨てたら、誰かが拾わなければなら  
ないのです。自分のごみは自分で処  
理してほしいものです。



また、走るときは左側をはしるの  
ですが、当然自動車も走ります。出  
来るだけ左端を走るので、後ろ  
から車が来ると音で分かります。

タイヤの音は非常に大きく、スピ  
ードを落とすし中央寄りです。走  
る車はいいのですが、速度を落とす  
でもなく中央に寄るでもなく、その  
ままのスピードで走り去っていく車  
には恐怖を感じます。

車の運転で思いやりがあるかどう  
か、分かるような気がします。思い  
やりとは、相手の立場、身になって  
考え行動することだと思います。

施設利用者への支援に対しても思  
いやりが大事だと思います。思いや  
りの気持ちを忘れず仕事をしたいと  
思います。

## 支援事業について

支援課長補佐 高橋 イク子

今日も子どもたちの元気な声が  
療育ホールいっぱい響いています。

当園で昭和六十年から始められた  
「さくらんぼルーム」は療育支援事  
業の大きな柱となっています。

なかなかことばが出ない、コミュ  
ニケーションがうまくとれない等発  
達で気になる子どもたちの療育を行  
い、現在十八名の子どもたちが週一  
回、お母さんと一緒に通園しており  
ます。

「さくらんぼルーム」はさくらん  
ぼが一房に二つ三つと実をつける、  
その様子は親子が手をつないでいる  
姿に似ている、親と子が訓練指導を  
受けることによって成長することを  
願い、この名称がつけられたと聞い  
ています。親と子がしっかりと向かい  
合える場として、私たちスタッフも、  
共に学びあひ時には励まし、子ども  
たちの成長を喜びあひながら、支援  
をしているところです。

また、その他に、保育所や家庭に  
出向いての訪問療育や地域の療育訓  
練への支援もしており、今年度は、  
南部エリアでの「わんぱく教室」も  
開設しております。地域のニーズに  
対応しながら、地域に出向く療育も

求められるところです。

福祉の流れがめまぐるしく変わる  
中で、当園の施設サービスはもちろ  
んのこと、その機能を生かしながら  
在宅サービスに向けてのサービス内  
容の拡充を図り、今後も地域ととも  
に取り組んでいきたいと思ってお  
ります。

泣きながら通園した子どもたちが、  
また来週といって笑顔で手をふる姿  
に、元気をもらいながら奮闘してい  
る毎日です。





## 成人棟の 親子旅行

支援課成人棟の親子旅行が実施され、日帰り旅行は、八月二十一日と九月十一日の二班に分かれて秋田市のキングレジャーカスへ出かけました。一泊旅行は、八月三十日～三十一日、九月六日～七日の二班に分かれて仙台・松島方面へ出かけました。



## 育てる喜び

支援補助 能登屋 さつみ

今年度は、成人の畑作班と児童の園芸班と協同作業で花や野菜を育てています。

苗を育てる事が上手な児童の皆さんと、畑で実を収穫したり、花を咲かせていた成人の皆さんが力を合せて植物を育てる協同作業が始まりました。

新緑も色濃くなってきた頃、園芸班は種蒔き用ポットにひまわり・マリーゴールドなど花の種と同時に、オクラ・とうもろこしを蒔きました。そして大事に育てたところ見事になつた芽を出し畑に植え替えの時期になった事を畑作班の方々へ伝え一本一本大事に畑へ植え替え、大きく育てることができました。

初めて育てたとうもろこしは、児童会でこちそうなることになり、皮むきも自分達で行いおいしくいただく事ができました。

初めて育てた野菜の苗でしたが、成人の皆さんと力を合わせたことでおいしいとうもろこしを食べることができました。オクラは、収穫した物は全て厨房にお願いして食事に出してもらいました。



今後も畑作班と園芸班とで協力して作業していきたいと思っております。



# 春のレクリエーション

バン食い競争、  
口で取るって  
難しい。  
やっぱり手が出て  
しまいます。



## 南棟親子遠足

大森山動物園

何度来ても、時間の経つのを忘れて  
しまう程見入ってしまいます。



## 北棟親子遠足

男鹿

地震で1ヶ月程延期になりましたが、  
好天に恵まれ、楽しく過ごしました。



# ほほ スポ

## 県南ふれあいスポーツ大会



宣誓、緊張したけど頑張りました。

舞台と一体  
となり  
ました。  
興奮



## チャリティ キャラバン 人形劇

## 県南保護者会 視察研修



秋田市杉の木園授産施設の見学をしてきました。

## 夏まつり



よさこいは、すっかりマスターして披露することができました。プランターの花は、北棟園芸班で育て、こんなにきれいに咲きました。

# 健康診断について

看護師 小野崎 邦子

阿桜園利用者の皆様に毎年行われている健康診断についてご紹介いたします。

①健康診断 (年2回)

身長・体重・肥満度・血圧測定・血液検査・尿検査

②ぎょう虫検査 (北棟・南棟)

③結核検診

④眼科検診

⑤耳鼻科検診

⑥骨密度検診

⑦心電図 (40歳以上)

⑧がん検診 (40歳以上)

胃・大腸・乳房・子宮

⑨歯科検診

今年度は、春に健康診

断・結核検診・ぎょう虫検査・眼科検診・骨密度・心電図・大腸がん検診を行いました。二次検査の指摘を受けた方が数名おりましたが、医療機関を受診し大きな問題なく終了しています。

秋にがん検診 (胃・乳房・子宮)、健康診断 (2回



目)、耳鼻科検診を予定しています。

平鹿総合病院、嘱託医の協力を得て利用者の皆様には、苦痛、不安を与えぬよう行っております。

歯科検診は、毎月約10名ずつ平鹿総合病院歯科外来で行っております。歯石付着や歯周病の指摘を受ける方が多く、その後通院治療しています。

健康診断以外に、日頃の健康観察や定期通院等で、利用者の皆様が健やかな日々が送れるようお手伝いしておりますが、ご家族の皆様にも帰省の際、気づかれたことなど遠慮なくお知らせ頂ければと思います。

食事、運動、睡眠と気をつけることは沢山ありますが、「健康は、自分と家族への最高の贈り物」

この頃上昇ぎみの体脂肪を減らすよう今日から私も……一緒にいかがですか？

(でも食欲の秋なんだよね～)

## ありがとう

みんなのあたたかい善意に利用

者の方々とともにお礼申し上げます。

○日立ユニシアオートモティブ様

○わたぼうし様

○秋田県立衛生看護学院生さん

○聖園学園短期大学生さん

○大和真理子様

○横手唯子保存会様

○横手城南高校生徒さん

○佐藤忠一郎様

○佐々木時朗様

○福田弘美様

○湯浅徳一様

○武藤里利様

○高橋クリニック様

○永瀬理容店様

## お知らせ

入所

8月13日 南棟

○佐藤 悠さん (湯沢市) 家庭より

9月17日 北棟

○古谷優香さん (大仙市) 家庭より

退所

6月30日 北棟

○福原 貴幸さん 家庭へ

## 新任職員

城 由紀子 (ほつと)

8月からほつとハウ

スでお世話になってお

ります。まだわからな

い事ばかりですが、利用者の皆様が



笑顔で過ごせる様に一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひします。

佐藤 あかね (東棟)

成人支援課棟で勤務しております。若さとパワーで頑張りたい

きます。皆様、よろしくお願ひ

致します。



## 退職職員

○小杉 沙織

○泉 真喜子

## 編集後記

今号は保健室や支援事業からも原稿を寄せてもらい、いつもとちよつと雰囲気が変わってきたかな、次号では厨房や施設管理の苦労話など原稿を待っています！(この広報はどこまで暴走するのでしょうか。)

原稿を書いている最中、足元がグワリ地震を感じる。考えてみると、今年も大きな地震が多かったこと、近い所では宮城・岩手内陸地震。国外では中国四川大地震があった。特に四川では八万六千人以上の犠牲者が出たとか、想像がつかない為資料を見ると大館市の人口丸ごと、横手市の八割が犠牲になったことになる。阿桜園では毎月避難・防災訓練を行っているが、我が家では玄関脇の壁に非常持ち出し袋が埃を被ってぶらりと下がっている。避難場所はどこか。そんなわけで桜のお話しのスペースなし、残念。